

生物多様性保全検討部会における審議状況について

平成28年7月7日に開催した「平成28年度第1回生物多様性保全検討部会」(以下「部会」という。)における審議状況について御報告します。

1 京都市生物多様性プランに基づくリーディング事業の取組状況等について(報告)

(別添参照)

「京都市生物多様性プラン～生きもの・文化豊かな京都を未来へ～」(以下「プラン」という。)に基づき実施してきた取組の進捗状況について、報告を行った。

(部会での主な意見)

- ・ 普及啓発冊子「京都の社寺と生物多様性」は、京都ならではの自然環境や文化に焦点を当てた非常に評価できるものであり、今後も継続的に発行していただきたい。
- ・ プランのリーディング事業については、着実に推進されているが、引き続き、部会委員の協力等により、取組を加速していただきたい。

2 今後の取組について

これまでのプランに基づく取組を踏まえ、今後の取組について、意見交換を行った。

(部会での主な意見)

- ・ 市内の生物多様性保全活動団体について情報収集し、ホームページや登録制度、セミナー等を活用して、積極的に連携を図るべきである。
- ・ 昨年12月に環境省が選定した「生物多様性保全上重要な里地里山」(500箇所)において選ばれた京都市内の2箇所(「大原野森林公園周辺」及び「大原の里」)について、保全活動への支援を検討していただきたい。

3 京都市生物多様性プランの進捗管理について

プランの進捗管理の手法について、意見交換を行った。

(部会での主な意見)

- ・ プランの目標年度(平成32年度)に向けた取組の見直しを検討するために、計画期間の中間年度に当たる平成29年度に、市民及び事業者の意識調査を行うべきである。
- ・ 庁内の関係部局との連携を強化し、生物多様性関連事業の取組状況を把握・管理していただきたい。